

## 当院において以前に糖尿病外来通院中に肝細胞がんと診断された方およびご家族の方へ

関西医科大学総合医療センター消化器肝臓内科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

### 【研究課題名】

糖尿病外来における肝細胞癌発生の実態把握

【対象となる方】 関西医科大学総合医療センターにおいて、2010年1月から2015年12月までに糖尿病外来通院中に肝細胞がんと診断された方

【研究の目的と意義】 本邦においてウイルス肝炎を合併しない肝細胞がん患者は、増加の一途をたどっておりますが、肥満・糖尿病・飲酒が危険因子である事を除いては、どの様な方が肝細胞がんを発症しやすいか分かっておりません。過去に当院糖尿病外来通院歴のある肝細胞がん患者の診療状況を調査することによって、今後糖尿病外来において肝発がん高危険群を囲い込む方法を確立することが本研究の目的です。

【研究の方法】 過去に当院糖尿病外来に5年以上の通院歴があり、肝細胞がんと診断された方を対象に、性別、年齢、身長、体重、肝細胞がんのステージ、糖尿病治療の内容、肝細胞がん診断時と診断5年前の血液データ(血算、生化学、血糖値など)、その後の治療内容と予後を調査します。多施設共同研究として200人を目標に本研究をすすめていきたいと考えております。

【利益・不利益】 この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

**【あなたの人権、個人情報の保護について】** この研究は、当院の医学部倫理委員会によって承認された範囲内で行われ、承認後も医学部倫理委員会が監視を続けます。本研究での調査内容は、担当医師やこの研究を手伝っているスタッフを通じて、あなたのお名前を管理のための番号で置き換えて管理されます。調査内容は、本研究の研究者により日本や海外の医学雑誌や学会で発表されることもあります。いずれの場合もあなたのお名前やご住所など、個人を特定できるような情報はいっさい当院以外へはでません(あなたの名前を置き換えた番号との対比表は病院内でのみ管理され、研究終了後5年で廃棄されます)。

**【利益相反について】**

下記研究責任医師また研究分担医師の本試験の計画・実施・報告において、試験の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような新たな「利益相反」は生じていない。

**【この研究の相談窓口について】**

あなたがこの研究について知りたいことや、心配なことがありましたら、下記の相談窓口にご相談下さい。

**【相談窓口】**

関西医科大学総合医療センター 消化器肝臓内科  
〒570-8507 守口市文園 10 番 15 号  
電話番号：06-6992-1001 (代表)

研究責任医師	助教	津田 梨那子 (つだ りなこ)
研究分担医師	教授	関 寿人 (せき としひと)
研究分担医師	講師	村田 美樹 (むらた みき)
研究分担医師	助教	山科 雅央 (やましな まさお)

上記 4 名が本研究の担当医師です。